

たん暖たてやま

広報/たてやま

平成12年11月号(15日発行) No.596

発行/館山市秘書広報課 〒294-8601 館山市北条1145-1
電話 22-3111 内線 505 FAX 23-3115

●11月1日の人口/総人口52,458(△11)

男 25,294(△2) 女 27,164(△9) 世帯数 20,848(2)
() 内は前月比



11



市民

環境美化ポスター最優秀賞のみなさん
左から石崎さん、鈴木さん、岩城くん、
飯田さん、渡邊さん、出口さん

響け! 喜びの歌



南房総の第九2000

日時/12月10日(日) 午後2時開演
会場/南総文化ホール(大ホール)
入場料/全席自由 2,000円
主催/(財)千葉県文化振興財団
問合せ/南総文化ホール(☎22-1811)

先月8日に行われた環境フェアの中で、来年の環境美化カレンダーに掲載されるポスターのうち、各学年の最優秀賞の6人が表彰されました。今年は、市内の小中学生から380点が出展。その中から最優秀賞、優秀賞には各学年1人ずつ。佳作は各学年2人ずつ選ばれました。

年内には各家庭にカレンダーとして、配布され、来年1年間、環境美化を呼びかけます。

石崎結子さん(北条小1年)
「わたしはオレンジ色が大好き。だからたくさん使っているの」

鈴木李果さん(館野小2年)
「とてもうれしい。自分の絵が早くカレンダーにならなかなあ」

岩城弘幸くん(那古小3年)
「ピーマンなどの野菜や花、葉、実などでスタンプを押して作りました。お母さんに少しいアイデアを出してもらいま

シリーズ
市民
116

わたしたちのポスターが
環境美化をよびかけます



環境フェアたてやま
準備してから本番まで3日ぐらいかかりました

飯田麻依さん(北条小4年)
「1年生から4年生連続の入賞。まわりの人からスゴイ、スゴイって言われて、びっくりにしています」

渡邊紗也果さん(館野小5年)
「自分ではあまり自信がなくて、入賞はあきらめていました。でも2年連続で、入賞できてすごくうれしい」

出口優さん(北条小6年)
「下書きしてからいいいに仕上げたので、出来るまで3日ぐらいかかりました。最優秀に選ばれて本当にうれしいです」

見つめてみよう
観てみよう
ウメボシ
イソギンチャク
—海に咲く華— その二



▲ムラサキハナギンチャク



▲サンゴイソギンチャク



▲フトウデイソギンチャク

今回の主役はイソギンチャク。この仲間には体の構造が放射状になっている六放サンゴ類の一員である。その中で骨格を持って群体をつくるグループはイソギンチャク類に、骨格を持たずに体が柔らかく、単体で生活するグループがイソギンチャクとハナギンチャク類に分類される。イソギンチャクの体は、巾着のような袋状の構造で、食べ物を口から食べて口から排出する。口の周囲には、簡単には数え切れないほど多数の触手を備えている。その一つ一つに毒針を仕込んだ刺胞を沢山隠し持っている。知らずに近づいて刺された小魚やエビなどの小動物が麻痺するのを待つて丸のみにしてしま

ウメボシイソギンチャク
▲開いたところ
▲閉じたところ

ウメボシイソギンチャクは、潮が引いた時のしぼんだ姿が梅干そっくりであるが、水の中では華やかな華ほど用心。(小池康之)

市の発展のため各分野で活躍



晴れの市政功労者を表彰

今月3日、南総文化ホールを会場に、市政発展のために、各分野で活躍されてこられた功労者の今年度の表彰式が行われました。受賞者は56人。表彰された人たちを紹介します。(順不同・敬称略)



善行表彰 (該当5件)

昨年11月4日以降に市に100万円以上の金品を寄附した団体と個人です。
故大和多あつ(遺贈)、高橋留吉(寄付)、館山市立第三中学校PTA(寄付)、布哇観光事業グループ(寄付)、株式会社八幡不動産(寄付)

功労表彰 (該当51人)

第4号該当19人
市の特別職の職にあつて、15年以上在職した人です。
明星 静(現国民健康保険運営協議会委員)、石井半次(元消防団員)、石渡雄二(現消防団員)、大内松夫(元消防団員)、長田三彦男(現消防団員)、清川正章(現学校医)、小林進(現交通指導員)、西郷隆好(現防災会議委員)、白幡進(元地区公民館運営審議会委員)、鈴木英雄(現都市計画事業西口土地区画整理審議会委員)、田辺祐治(元消防団員)、富永真知子(現学校医)、土橋保夫(現総合計画審議会委員)、平塚英雄(現消防団員)、平野晴夫(現学校医)、廣瀬光昭(現消防団員)、増田清(元消防団員)、

第5号該当1人
増田邦男(現消防団員)、山口俊彦(現消防団員)

第6号該当22人
市職員、市立学校の教職員で、25年以上在職した人です。
飯田みち子、石井明美、宇山栄一、岡崎章、岡田文男、川名忠幸、黒川俊江、笹谷則夫、佐藤志美(教職員)、芝田克美代(教職員)、島田敏之、嶋田範夫、庄司真弓、鈴木孝行、須藤泰、田村わか代、土岐明美、中村美千子、藤平孝子、松崎美榮子、吉田安重、吉野和代

第7号該当9人
多年教育、産業、土木、衛生、社会福祉その他市の公益と振興発展に尽力された人です。
石井明子(福祉)、上田武男(産業)、小幡すゝ子(福祉)、外山庄次(産業)、永田耕逸(税務)、錦織敏子(福祉)、仁平政夫(建設)、林角郎(文化)、吉田兼雄(産業)

21世紀に伝えたい 南房総の四季を募集!

世紀越えイベント!



▲昨年度最優秀賞「夕焼けのきれいな丸山町」相場利明さんの作品

館山市・白浜町・千倉町・丸山町の1市3町と民間企業で構成する南房フラワーパークリゾート推進協議会では、世紀越えイベントの一環として、「21世紀に伝えたい南房総の四季」写真コンテストを行います。風景や祭事など今年の写真であればOK!あなたが次の時代に伝えたい南房総を写真で応募ください。

「21世紀に伝えたい南房総の四季」写真コンテスト

応募規格/カラープリント四つ切り判(ワイド6つ×ワイド4つ可)

テーマ/南房総の四季の風景、行祭事等観光宣伝に使えるもの
撮影期間/平成12年1月1日〜平成12年12月31日
撮影場所/館山市・白浜町・千倉町・丸山町

募集点数/1人何点でも可。(但し、未発表の作品に限ります)

記載事項/作品の裏面に、1枚ごとに応募票(自作可)を貼付し、題名・撮影場所・撮影日時・住所・氏名・電話番号を明記してください。
入賞作品の著作権/入賞作品の著作権は、主催者に帰属します。

原稿の提出/入賞者は指定期日までに入賞作品の原稿を主催者に提出していただきます。なお、原稿の提出がない場合は入賞を取り消します。



応募作品の返却/応募作品は原則として返却しません。但し、選外作品は希望により返却します。(送料は応募者負担)

応募締切/平成13年1月31日(当日消印有効)
審査員/浅井慎平(審査員長/写真家・千倉海岸美術館館長)、館山市長・白浜町長・千倉町長・丸山町長、各観光協会会長

各賞/最優秀賞1点5万円、優秀賞2点3万円、入選8点1万円、特別賞50点

環境Q&A

祝祭日の収集

Q: 金属類の収集日、ガラス類の収集日が、祝祭日の場合、収集はありますか。

A: 収集はありません。次回の収集日に出してください。

Q: 可燃物の収集が週1回の地区ですが、その日が祝祭日の場合、収集はありますか。

A: 祝祭日は収集しません。翌日に収集します。

問合せ/環境保全課 (☎22-3111 内線614)

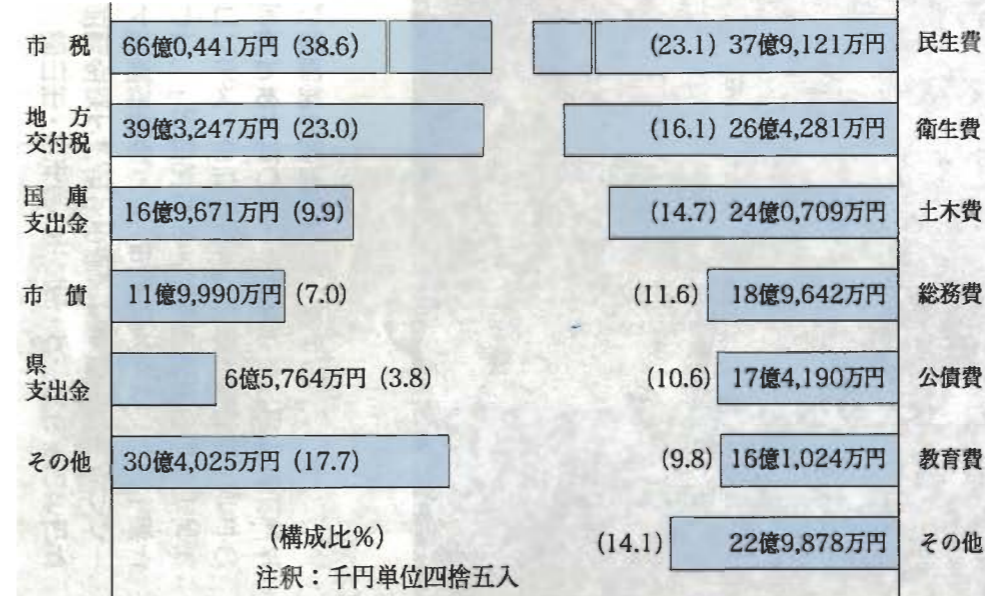
入賞の発表/平成13年2月下旬予定。審査結果は入賞者に直接通知します。

応募・問合せ/〒295-8601 安房郡千倉町瀬戸229-4 千倉町企画課(南房フラワーパークリゾート推進連絡協議会事務局) ☎44-5616 FAX 40-1013

みなさんの税金が

どのように使われたのでしょうか

歳入 ②平成11年度決算・歳入総額 171億3,138万円
歳出 ①平成11年度決算・歳出総額 163億8,845万円



一般会計

平成10年度と比べ 歳入・歳出ともに減少

市の会計は一般会計と特別会計に分かれています。市民生活に直接関係が深い、道路の補修や学校整備、福祉などの経費が一般会計です。昨年度の一般会計で、どれだけ支払ったか、収入したかを上の①②のグラフで示しています。

平成11年度の一般会計決算額は、歳入で171億3,138万円、歳出で163億8,845万円です。平成10年度と比べて、歳入で5.0%、歳出で5.1%それぞれ減少しました。歳出を性質別にみると(グラフ③)、社会保障制度として生活困窮者や身体障害

市民の負担と市の支出

1人あたり使われたお金	約310,000円
1人あたり負担した市税	約125,000円
1世帯あたり使われたお金	約775,000円
1世帯あたり負担した市税	約312,000円

人口52,941人 世帯数21,137世帯 (平成12年5月末現在)

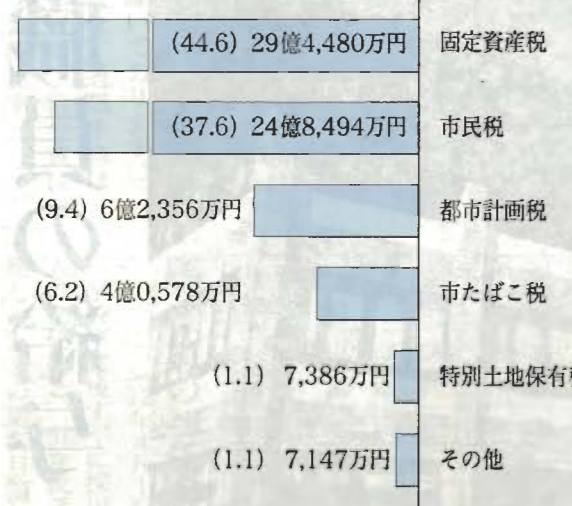
市民のみなさんの税金が、どのように使われたか、市の財政状況がどうなっているか。この決算の公表は、市の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかを知っていただくものです。昨年度の決算の概要と今年度予算の9月補正額をお知らせします。

問合せ/財政課財政係 (☎22-3111内線532)

占める市税の内訳をみてみると(グラフ④)、固定資産税が全体の44.6%、次いで市民税が37.6%となっています。都市計画税と入湯税は目的税と呼ばれ、使いみちが定められています。

11年度の都市計画税収入額(6億2,356万円)は、11年度に行った都市計画事業の青柳大賀線整備事業(事業費2億4,480万円)、館山駅西口地区土地整理事業(事業費1億5,137万円)、公共下水道整備事業(事業費4億5,587万円)や、過去に行った城山公園などの都市計画事業に係る地方債の償還(1億6,619万円)の一部に充てられ、入湯税の収入(80万円)は消防ポンプ自動車整備事業(2,890万円)の一部に充てられました。

市税 ④市税の内訳 66億0,441万円



性質別 ③性質別歳出の内訳 163億8,845万円



特別会計

特別の目的をもって、独立採算を建て前に運営されるものを特別会計といつて、一般会計と区分しています。11年度の特別会計は、国民健康保険、老人保健、学童災害共済事業、下水道事業の4つです。それぞれの歳入と歳出、前年度対比を次の表で示しています。

▼平成11年度特別会計の決算状況 (単位：万円)

会計名	歳入	前年度対比	歳出	前年度対比
国民健康保険	445,403	2.3%	424,440	2.5%
老人保健	601,176	5.1%	600,593	5.1%
学童災害共済事業	82	▲15.5%	74	19.4%
下水道事業	130,763	▲20.5%	128,126	▲21.1%

平成12年度 9月補正

約2億3,900万円を追加し 一般会計総額 154億4,124万円に

一般会計

平成12年度9月補正で、一般会計の歳入・歳出にそれぞれ2億3,924万円を追加しました。これにより、一般会計の総額は154億4,124万円となりました。歳出補正による主な事業は、児童手当制度の改正に伴う被用者就学前特例給付費等、市庁舎本館玄関部分の安全性と利便性確保のための市庁舎改修事業、安房地域における消費者への生鮮食料品などの円滑な供給を図るための公設卸売市場基本計画等委託料、防災対策として非常時における情報連絡体制強化のための防災行政無線屋外拡声子局増設事業、新救急医療体制整備に伴う安房都市広域市町村圏事務組合保健衛生費負担金などの増額となっています。

特別会計

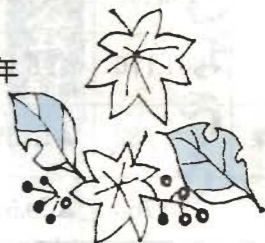
特別会計では、国民健康保険特別会計で歳入・歳出にそれぞれ90万2千円を追加し、総額44億6,918万5千円となりました。また、介護保険特別会計で歳入・歳出にそれぞれ397万円を追加し、総額19億8,687万9千円となりました。下水道事業特別会計では、歳入・歳出にそれぞれ10万5千円を追加し、総額11億6,910万5千円となりました。

市職員の給与・定員管理を公表



定員の適正化を進めています

市職員の給与の概要と平成11年度から平成15年度までの5年間で進めている「定員適正化計画」（平成10年度策定）による市職員の定員管理の状況についてお知らせします。
 問合せ／総務課人事係（☎22-3111 内線523）



給与決定のしくみ

地方公務員の給与は、地方公務員法により、生計費や国・県・他の市町村の給与、民間企業従業員の給与などを考慮して定められています。

職員給与の内容

館山市職員の給与は、「給料」と「職員手当」からなります。

毎月決まって支給されるもの

給料／職務の種類や内容に応じて給料表に定める額（基本給）
 扶養手当／扶養親族のある職員に支給
 調整手当／地域給に相当する手当
 住居手当／借家などに住んで家賃を支払っている職員、または自宅に住んでいる職員に対し支給
 通勤手当／電車、バス、乗用車などで通勤する職員に支給
 その他／管理職手当

臨時に支給されるもの

期末・勤勉手当／民間企業のボーナスに相当する手当
 退職手当／職員が退職するときに支給

人件費の状況

平成11年度普通会計に占める人件費の状況は、次のとおりです。実質収支（純剰余金又は純損失）は、5億9千9百万円の黒字でした。



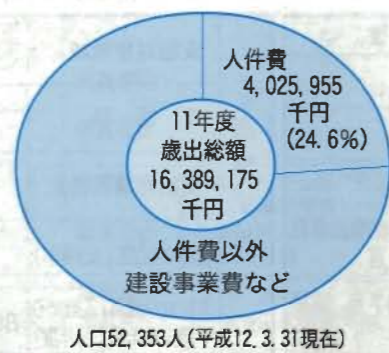
勤務の実績に応じて支給されるもの

時間外勤務手当／通常の勤務時間を超えて勤務したときに支給
 特殊勤務手当／著しく危険、不快、不健康、困難その他特殊な勤務に従事したときに支給
 その他／夜間勤務手当や宿日直手当など

特別職の報酬等

経年数は、卒業後すぐに採用され、引き続き勤務している採用後の年数。
 採用前の民間歴などある場合は、その期間を換算し採用後の年数に加えた年数です。
 （一）内は、市職員としての在職年数。

平成10年度の人件費の割合は22.8%でした。人件費には特別職に支給する給料、報酬などを含んでいます。
 （注）普通会計とは、それぞれの市町村の財政比較をするために財政統計上用いられる会計区分です。館山市では、一般会計と学童災害共済事業特別会計がこれにあたります。



職員給与費 (普通会計)

市の全職員は、484人（4月1日現在）です。次の表の職員数459人は普通会計職員で、下水道と介護保険の特別会計事業の職員が除いてあります。
 職員手当には、退職手当は含まれていません。給与費は12年度当初予算額です。

職員の種類別平均給料月額、職別平均給与月額及び平均年齢（12年4月1日現在）

平成12年度職員数(A)	459人
給料	1,951,061千円 (62.4%)
職員手当	285,693千円 (9.2%)
期末勤勉手当	886,955千円 (28.4%)
計(B)	3,123,709千円
1人当たり給与費(B/A)	6,805千円

給与月額は、月々支給される給料と職員手当(期末、勤勉手当、退職手当を除いたすべての手当)の合計です。教育職は、幼稚園教諭のことです。

▼平均給料

一般行政職	館山市	364,125円	42.5歳
行政職	国	326,106円	39.9歳
技能労務職	館山市	300,548円	44.4歳
労務職	国	289,315円	47.9歳
教育職	館山市	363,679円	42.0歳

▼平均給与(館山市)

一般行政職	431,917円
技能労務職	351,505円
教育職	379,475円

職員の初任給

（12年4月1日現在）
 学校卒業後すぐに採用された人の初任給と、引き続き2年勤務したときの給料月額です。

▼初任給

館山市	181,400円
大学卒 国	174,400円(Ⅱ種)
館山市	146,500円
高校卒 国	141,900円

▼2年経過日給月額

館山市	203,800円
大学卒 国	188,900円(Ⅱ種)
館山市	157,700円
高校卒 国	151,800円

一般行政職の級別職員数（12年4月1日現在）

本市給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。技能労務、委員会、税務、看護保健、医療技術、企業、保育各職員は含みません。各級の職務内容欄は、各級の主な職名です。

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
職務内容	主事	主事	主査	係長	主幹補	課長補佐	課長主幹	部長参事	—
職員数	12人	44人	92人	48人	34人	33人	24人	9人	296人
構成比	4.1%	14.9%	31.1%	16.2%	11.5%	11.1%	8.1%	3.0%	100%
1年前の構成比	4.0%	16.0%	31.9%	15.3%	11.6%	10.6%	8.6%	2.0%	100%
5年前の構成比	7.1%	20.7%	26.6%	12.6%	11.3%	11.0%	8.7%	2.0%	100%

昇給期間の短縮

区分	合計	一般行政職	技能労務職	教職員
10年度	職員数(A) 普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数(B)	494人 37人	386人 31人	70人 5人
	比率(B/A)	7.5%	8.0%	7.1%
11年度	職員数(A) 普通昇給期間(12~24月)を短縮して昇給した職員数(B)	490人 30人	385人 17人	67人 1人
	比率(B/A)	6.1%	4.4%	1.7%

職員の経験年数別・学歴別平均給料月額

（12年4月1日現在）

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	289,200円(10年)	332,500円(15年)	392,900円(20年)
	高校卒	227,600円(9年)	287,600円(15年)	該当なし
技能労務職	高校卒	219,500円(8年)	214,100円(6年)	253,700円(12年)

職員手当

期末・勤勉手当は、民間の賞与などの特別給に相当するものです。
 退職手当は、一部の市を除き、県内各市町村が同一支給率です。

区分	報酬等月額(8年4月1日適用)	期末手当(11年度支給割合)
市長	865,000円	6月期 2.2月分
助役	734,000円	12月期 2.25月分
収入役	684,000円	3月期 0.45月分
議長	426,000円	計 4.90月分
副議長	385,000円	
議員	359,000円	

▼定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の内訳【一般行政部門】

(各年4月1日現在)

区分	10年 計画前年	11年 1年目	12年 2年目	11~12年 計	手法(事由)概要
議会					減員理由： 増員理由：
減員					
増員					
差引					
職員数	5	5	5		
総務企画					減員理由：庁内案内民間委託、交通・防犯事務見直し、ウエルネスリゾートパーク計画など事業見直し 増員理由：基本構想策定、財政再建化計画策定、企画部参事の設置、介護保険制度関連業務の増
減員		△2	△2	△4	
増員		3	3	6	
差引		1	1	2	
職員数	91	92	93		
税務					減員理由： 増員理由：介護保険制度関連業務の増、納税推進室新設に伴う室長設置
減員					
増員		1	1	2	
差引		1	1	2	
職員数	23	24	25		
民生					減員理由：保育士及び老人福祉センター職員退職不補充、介護保険制度の事前準備の終了に伴う減 増員理由：介護保険制度関連業務の増、幼稚園教諭から保育士への職種変更
減員		△3	△5	△8	
増員		4	3	7	
差引		1	△2	△1	
職員数	88	89	87		
衛生					減員理由：派遣職員の引き上げに伴う減 増員理由：
減員					
増員		△1		△1	
差引		△1		△1	
職員数	84	83	83		
労働					減員理由： 増員理由：
減員					
増員					
差引					
職員数	1	1	1		
農林水産					減員理由：農政業務増に伴う漁政業務職員の異動、農地情報管理システム導入に伴う減 増員理由：農業振興地域整備計画見直しに係る業務増
減員		△1	△1	△2	
増員		1		1	
差引		0	△1	△1	
職員数	23	23	22		
商工					減員理由：商工業務増に伴う観光業務職員の異動、国民宿舎「鳩山荘」精算業務等の完了による減 増員理由：経済振興施策業務の増
減員		△1	△2	△3	
増員		3	1	4	
差引		2	△1	1	
職員数	12	14	13		
土木					減員理由：用地買収及び土地区画整理事業進捗に伴う減、駅舎建設精算業務の進捗に伴う減 増員理由：「海辺のまちづくり事業」推進に伴う増、県土木事務所派遣に伴う増
減員		△2	△5	△7	
増員			3	3	
差引		△2	△2	△4	
職員数	52	50	48		
計					
減員		△10	△15	△25	
増員		12	11	23	
差引		2	△4	△2	
職員数	379	381	377		

▼定員適正化計画の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

部門	区分	10年 計画前年	11年 1年目	12年 2年目	11~12年 計	(参考) 数値目標
一般行政	減員		△10	△15	△25	
	増員		12	11	23	
	差引		2	△4	△2(18%)	△11
	職員数	379	381	377		368
特別行政	減員			△2	△2	
	増員				0	
	差引			△2	△2(67%)	△3
	職員数	82	82	80		79
公営企業等会計	減員		△6	△1	△7	
	増員				0	
	差引		△6	△1	△7(117%)	△6
	職員数	34	28	27		28
計	減員		△16	△18	△34	
	増員		12	11	23	
	差引		△4	△7	△11(55%)	△20
	職員数	495	491	484		475

※計画期間は平成11年から平成15年の5年間である。
※(%)の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。

▼部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		11年	12年		
一般行政部門	議会	5	5		
	総務企画	92	93	1	企画部参事の設置
	税務	24	25	1	納税推進室新設に伴う室長設置
	民生	89	87	△2	介護保険制度の事前準備の終了
	衛生	83	83		
	労働	1	1		
	農林水産	23	22	△1	農地情報管理システム導入
	商工	14	13	△1	国民宿舎「鳩山荘」精算業務完了
	土木	50	48	△2	用地買収及び土地区画整理事業の進捗
	小計	381	377	△4	
特別行政部門	教育	82	80	△2	幼稚園教諭から保育士への職種変更
小計	82	80	△2		
公営企業等会計部門	下水道	18	18		
その他	10	9	△1	国民健康保健事業から戸籍等窓口への異動	
小計	28	27	△1		
合計		491	484	△7	

※職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する退職者、派遣職員などを含み、臨時又は非常勤職員を除いている。

▼職員手当

(12年4月1日現在)

区分	全職種		支給対象地域	全域	時間外勤務手当	10年度	支給総額	108,077千円
	職員全体に占める手当 支給職員の割合	45.3%						
特殊勤務手当	支給対象職員1人当たり 平均支給年額	60,687円	支給率	2%	職員1人当たり 支給年額	230千円		
	手当の種類(手当数)	13						
11年度	代表的な 手当の名称	支給額の多い 手当	調整手当	支給対象職員数	483人	11年度	支給総額	122,612千円
	多くの職員に 支給されている 手当	保育園業務手当、税務手当、清掃 作業等従事手当						
			国の制度(支給率)	—	職員1人当たり 支給年額	250千円		
			支給対象職員1人当たり 平均支給年額(11年度)	86,070円				

	館山市	国	館山市	国	
扶養手当	○配偶者 16,000円 ○配偶者以外の扶養親族 2人まで 1人 5,500円 3人目から1人 2,000円 ○16歳~22歳までの 子の加算 1人 5,000円	○配偶者 16,000円 ○配偶者以外の扶養親族 2人まで 1人 5,500円 3人目から1人 2,000円 ○16歳~22歳までの 子の加算 1人 5,000円	期末・勤 勉手当	(11年度支給割合) 期末 勤勉 6月期 1.6月分 0.6月分 12月期 1.65月分 0.6月分 3月期 0.5月分 計 3.75月分 1.2月分	(11年度支給割合) 期末 勤勉 6月期 1.6月分 0.6月分 12月期 1.65月分 0.6月分 3月期 0.5月分 計 3.75月分 1.2月分
	住居手当	○借家 (家賃12,000円を超えた場合) 家賃の額に応じて27,000円 を限度に支給 ○自宅 4,300円		○借家 (家賃12,000円を超えた場合) 家賃の額に応じて27,000円 を限度に支給 ○自宅 1,000円(新築・購入後 5年間は2,500円)	退職手当
通勤手当		○電車・バスの利用 定期代全額支給 ○乗用車等を利用 使用距離に応じて、2,000円 から32,330円を支給	○電車・バスの利用 定期代45,000円まで全額支給 それを超える部分は半額支給 (5,000円を限度) ○乗用車等を利用 使用距離に応じて、2,000円 から20,900円を支給	退職特別昇給 1号給 その他の加算措置：国と同じ 1人当たり平均支給額 29,558千円 (前年度退職した人の平均支給額)	

定員管理の状況

定員適正化計画の数値目標

平成8年度に「第1期定員適正化計画」(平成9年度から平成13年度)を策定し、組織機構の簡素合理化、事務の見直し、OA化の推進、民間への委託などを実施しました。その結果、平成10年度までのわずか2カ年間で45人を削減(計画では43人減)し、目標を達成しました。

一般行政部門においては、職員数の削減が今後も必要ことから「第2期定員適正化計画」(平成11年度から平成15年度)を平成10年度に策定しました。

経済振興施策などの充実に伴い、増員される部門も予測されますが、新採用職員の抑制などにより、職員の大規模な増員を抑え、同計画期間の5年間で、各部門全体の4%にあたる20人の削減を図っていきます。

定員適正化計画の進捗状況

定員適正化計画の手法の概要

同計画では、組織・機構改革を実施する中で、職員の能力開発と非常勤職員の活用、民間委託を進め、職員数の削減を図っていきます。

また、適正配置、事務の効率化をはじめ、経常的に事務の見直しを図りながら、公務効率の向上に努めるとともに、地方分権の進展に伴う行政需要の多様化・高度化に対応していきます。

平成15年までの5年間で20人の減員を進めようとする同計画は、1年目に国民宿舎「鳩山荘」の廃止などにより4人を減員。2年目には、土地区画整理事業などの進捗や介護保険制度の導入準備が終了したことに伴い7人を減員し、2年目の計画目標を達成しています。

今後とも、事務の効率化、少数精鋭化により定員管理に努めるとともに、行政改革の理念に基づき、人件費の削減を目指し努力していきます。

館山市コーラル会議は、男女が共に社会に参画できるまちにするためにどうしたらよいか、昨年6月に設立以来、活発な討議を重ねてきました。今年の5月に市長から建議の要請を受け、2つの小委員会を編成。年度内の答申に向け、それぞれのテーマについて検討を行っています。今回は、第1小委員会の活動を紹介します。

今年5月、市長からの建議は、「男女共同参画社会づくりに向けての基本的な考え方や方向性について」。第1小委員会では「男女共同参画の意識づくり」「共同参画を進めるための家庭・職場・地域社会づくり」について検討しています。第1小委員会のメンバーは石井真弓委員、浦上恵美委員、小嶋秀代委員、鈴木勝次委員、鈴木順子委員、鈴木木文子委員、辰野方哉委員、田村悦智子委員、丸アイ子委員、村田としと委員の10人。今回は、先月11日に行われた小委員会「共同参画を進めるための家庭・職場・地域社会づくり」について紹介します。



田村悦智子委員



村田としと委員

男性も社会参画を

一般的に若い家庭は、夫婦の理解が強く、高齢者の家庭は、男尊女卑の傾向があるように思えますね。女性が社会進出するだけでなく、男性も家事や地域に進出する時代。男性が日常の買い物に行く



鈴木勝次委員

など家事を通じた意識づくりが必要ではないかしら。地域でも男性の方が元気がないですね。老人クラブも男性の参加が少ないです。それでも町内会長や区長は、圧倒的に男性が多いのはなぜでしょう。自治会の役員に女性を登用してはどうだろう。

できるまちに

男女が共に参画



コーラル会議 第1小委員会

女性に時間をつくって

女性が会合などに出ようとすると遊びに行くように思われることがある。そう言われると外に出るのはよそよそと思ったりする。そんなことから活動ができなくなる。

女性にどう時間をつくるか、外出しやすい環境づくりが大切。



鈴木木文子委員

職場での推進策を

教員の職場では、女性が多く、取り組みが進んでいた。他の職場に追い付け、追い越せて、女性が働きやすい職場になっていきます。

産前、産後の給料も支給され、同じ職場に復帰できる。育児時間も、男性の育児休暇も認められている。非常に保護されていると思います。これをお手本に、各職場で取り組んではどうでしょう。この



丸アイ子委員

実現は県レベル、国レベルへの働きかけたからで、やはり「知る」ということと「働きかける」ことが大事ではないか。再雇用できるように行政から働きかけたかどうか。

若いお母さんを支援するよう、週何回とか、1日何時間とか、柔軟な保育はできないですかね。公立保育園では、子どもが熱があると呼び出され、仕事を休まなくてはいけない。働きにくい。結局辞めることになる。医師とタイアップした保育所が理想。

女性の再就職を

有料でも、行政が積極的な動きをしなければだめ。女性が活発にもっと出ていけるよう「共同参加を進める」意識をこの会議から発信しよう。

女性の再就職も年齢制限で、働く場所がないんです。年齢制限を設けるのはおかしい。子育てを終えて、再就職しようとしても受け入れられるところが少ない。

専業主婦をしていた娘が子育てしながら職業訓練所に通い、技能を身につけ、就職することができました。自分を



小嶋秀代委員

女性からみた女性

女性がタバコを吸うのを見ると、女性の目から見ても、あまりよい気持ちはしないですね。周りでも半数以上が同感のようです。女性がタバコを吸うことが良い、悪いのではないんです。自分自身男性が吸うことは、なんでもないのに……

美徳と参画社会

「主人」と呼ぶのは、育つた教育ではないだろうか。そう呼ぶことが「美徳」とされてきた。

タバコも母性保護からいえば吸わないほうがよいだろう。吸ってはいけないとは思っていないが、赤ちゃんを



辰野方哉委員

抱いてタバコを吸っていたりすると良い感じは受けない。年を重ねた人は人前ではタバコを吸わない、若い人は人前で平気で吸っている、年代の感覚が違う。女性の喫煙は、自分が社会進出している主張、パフォーマンスかもしれない。女性の喫煙について議論されるのは、女性の立場が守られていないということではないか。昔からの女性の美徳という概念が残っているのではないか。女性の感性にはいろいろ教えられる。男女がお互いの良さを認めていくことが大切。



石井真弓委員

売り込む努力や特殊な能力が必要なんです。市内で能力を活かすにはどのように訴えればいいのか。

意識調査を実施しよう

女性の声を吸い上げるため

もっと女性議員を

長野県塩尻市に視察に行ってきました。ここでは、男女共同参画課が設置されています。館山のように「女性担当」とは違う。それに女性センターに保育室が完備され、常設の保育が3人配置。子どもを連れての参加が可能で、主にイベントや講座などを実施しています。

妻が留守の間、夫は親の介護や子どものめんどうを見てくれた。男の人もやれば出来る。やる時はやるのでは。家庭の中に平等意識が浸透してきているのではないかと感じ



浦上恵美委員

に意識調査を実施したらどうだろう。女性の能力を活かしたり引き出したりする環境づくりが必要。自分達、女性の手で何ができるか、それが「まちづくり」に拍車をかけていくことになるのでは。たとえ三芳村の道の駅とか、鴨川市の実例もある。自分達の特技を生かしたまちづくりは人が集まり生き生きとして働いている。



鈴木順子委員

ました。女性議員ももっと増えることでしょう。国の参画率は30%が目標とか。コーラルから議員がでるかも。



このコーナーに対するご意見、ご感想を企画課までお寄せください。

キャンペーン実施中

国民年金保険料は口座振替で
今ならプレゼントが当たる!

国民年金保険料を口座振替にしませんか?

国民年金保険料を口座振替にしませんか? 手続は簡単です。通帳、届出印、国民年金保険料納入通知書を持って、取扱金融機関で手続きしてください。

今ならチャンス!

今なら口座振替を利用して、期間中に口座振替の新規申込みを行った人の中から、毎月抽選で、賞品をプレゼントします。多くの応募をお待ちしています。

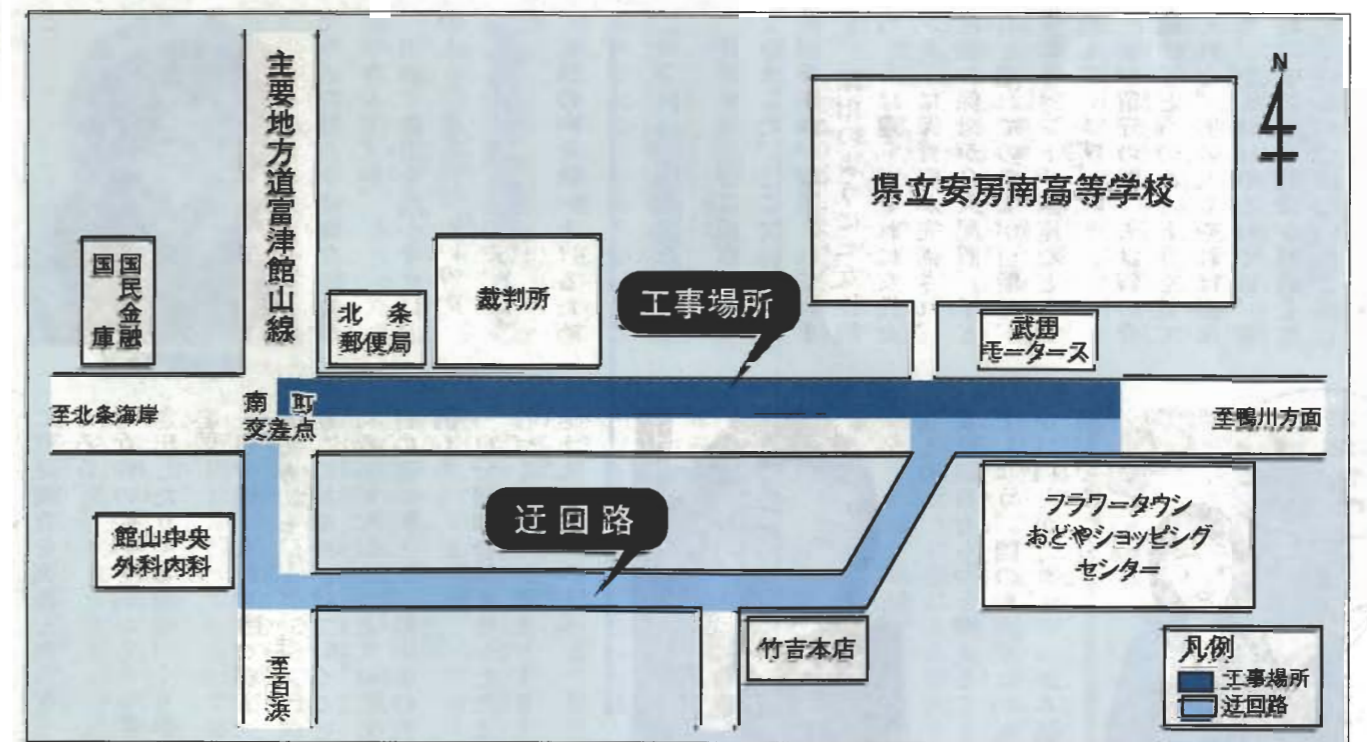


対象者/口座振替の新規申込みを行った被保険者と今年の10月までに口座振替納付をしている被保険者
応募方法/金融機関、市民課年金係にある専用の応募ハガキに基礎年金番号や氏名など必要な事項を記入して、郵送してください。
応募締切/平成13年3月5日(月)(当日消印有効)
賞品/1回につき、1等賞品(空気清浄器)1名、2等賞品(おりたたみ自転車)2名、3等賞品(電子血圧計)7名

ご協力ください
下水道工事に伴う
夜間交通規制

公共下水道第1期事業に伴う幹線管渠建設工事のため、国道128号の南町地内の一部で夜間交通規制を行います。工事期間中、ご迷惑をおかけしますが、みなさんのご理解とご協力をお願いします。工事期間/平成12年11月中旬〜平成13年3月末日
規制内容/夜間片側通行止め。ただし、作業の内容により全面通行止めとなる場合があります。全面通行止めの場合は迂回をお願いします。
問合せ/下水道課建設係 (☎22-3111 内線475)

当選発表/賞品の発送をもって代えます。
問合せ/応募先/〒260-8608 千葉県市川区弁天町210-13 大栄北ビル4階 千葉社会保険事務局年金課「口座振替キャンペーン係」
☎043-207-8845



国民年金 みんなでささえる 明るい老後

11月は
国民年金制度
推進月間です

国民年金制度が昭和36年4月にスタートして40年になり、年金の成熟期をむかえました。国民年金は現役世代が高齢世代を支える、世代と世代の助け合いです。「今はまだ先のこと」と思っているあなたもいつかは高齢者。その時の生活はどうしますか?一人ひとり老後に備えることも

もちろん大切ですが、個人の努力では限界があることも事実です。国民年金制度は国が責任をもって運営していますので、加入者がきちんと保険料を納めていれば、確実に年金が受けられます。

年若いからといって一定の収入を生産にわたって保障する国民年金は、あなたの老後をしっかりとサポートします。12年度の年金額は次のとおりです。
問合せ/市民課年金係 (☎22-3111 内線557)

高齢基礎年金(満額) 804,200円(月67,017円)
障害基礎年金(1級) 1,005,300円(月83,775円)
障害基礎年金(2級) 804,200円(月67,017円)
遺族基礎年金(母と子1人) 1,035,600円(月86,300円)

高校以上の
進学・在学に
奨学資金制度

高等学校や高等専門学校、専修学校、大学などに在学中の人や、来春進学する人に奨学資金をお貸しします。

この「ふるさと創生奨学資金制度」は、修学上必要な学費を奨学資金として貸し付け、修学を容易にし、明日の館山市を担う優秀な人材を育成しようとするものです。申請書の交付/12月1日から教育委員会です。受付期間/平成13年2月1日(木)から平成13年2月16日(金)までに学校教育課へ提出してください。選考のうえ、貸し付けます。
※奨学資金の返還にあたっては、状況により減免制度があります。

奨学資金の額

区分	奨学資金	
	修学金	入学支度金
高等学校	月額7,000円	
高等専門学校	月額7,000円	
専修学校	高等課程	月額7,000円
	専門課程	月額22,000円
短期大学・大学	月額22,000円	500,000円

問合せ/学校教育課 (☎22-3111 内線643)

ごみの搬出はルールを守って計画的に
年末年始のごみ収集

ごみの収集は、12月31日〜1月3日まで休みます。今年最後の収集日と、新年の収集開始日は次のとおりです。収集の間隔が長くなりますが、よろしくをお願いします。ごみの搬出は、近所の人の迷惑も考え、決められたものを出された時間に出すようご協力をお願いします。

- ◎ごみは、収集日の朝8時30分までに出してください。
 - ◎焼却場へ直接ごみを持ち込む場合、焼却を必要とする書類などは、一度に多量に持ち込まず、数日に分けて持ち込んでください。書類などのホルダーは必ずはずしてください。
 - ◎年末年始の古紙・紙パックの回収日は、環境美化カレンダーをご覧ください。
- 問合せ/環境保全課 (☎22-3111 内線614)

▼燃せるごみの収集

週3回の地区	最終日	開始日
月・水・金曜日の地区	12月29日	1月5日
火・木・土曜日の地区	12月30日	1月4日

週1回の地区	最終日	開始日
火曜日の地区	12月26日	1月9日
水曜日の地区	12月27日	1月10日
木曜日の地区	12月28日	1月4日
金曜日の地区	12月29日	1月5日

▼燃せないごみの収集

収集地区	種別	最終日	開始日
月曜日の地区	金属類	12月25日	1月15日
	ガラス類	12月18日	1月22日
火曜日の地区	金属類	12月26日	1月16日
	ガラス類	12月19日	1月9日
水曜日の地区	金属類	12月27日	1月17日
	ガラス類	12月20日	1月10日
木曜日の地区	金属類	12月28日	1月4日
	ガラス類	12月21日	1月11日
金曜日の地区	金属類	12月29日	1月5日
	ガラス類	12月22日	1月12日
土曜日の地区	金属類	12月30日	1月6日
	ガラス類	12月9日	1月13日

▼年末年始のごみの持ち込み

ごみの種類	年末の持ち込み日と時間
可燃性大型ごみ(木製タンスなど)	26日(火) 午前8時45分〜午後4時
上記以外に通常受け付けているごみ	29日(金) 午前8時45分〜午後4時
※可燃性ごみ	30日(土) 午前8時45分〜午後4時
粗大ごみ	31日(日) 午前8時45分〜正午
カン類・ビン類等	

平成13年1月4日(木)からは通常どおりです。

館山のみなさん ありがとうございます



10,253,593円の義援金

市民の善意を三宅村へ

「館山市民の善意に深く感謝します。大切にに使わせていただきます。市民のみなさんによろしくお伝えください。38年前の避難の際には、三宅島の子どもたちが大変にお世話になりました。今回の噴火は当時と状況が違いますが、島に帰れるメドがたちません」と長谷川鴻三宅村長。

市では、6月26日の三宅島「雄山」噴火に伴い、8月末から市民ぐるみの募金活動を展開。町内会や小中学校をはじめ、多くの市民から寄せられた義援金千25万3千593円（目録）を先月13日、辻田市長が、直接三宅村長に手渡ししました。

「昭和37年の噴火の際には、

千700名を超える島民の皆さんが館山市に避難された経緯もあり、今回の噴火にも特別な思いを寄せています。この義援金は、館山市民の三宅島島民の皆さんに寄せる気持ちの現れ。島の復興にお役立てください。島民の皆様には、避難所生活で、健康を損なうことがないよう気をつけていただき、1日も早く島に戻れますよう市民一同、心よりお祈り申し上げます」と市民の善意を伝えました。

さわやかにいい汗 市民スポーツ祭

先月8日、市民運動場と中央公園を会場に行われた「市民スポーツ・レクリエーション祭」では、家族づれなど266人の市民が参加。スポーツの秋を楽しみました。

種目は個人競技のグラウンドゴルフとチャレンジスポーツ（サングル飛ばし、ターゲットボードゴルフ、スキースタッチ、フリス



ビーの当て）、団体競技のペタンク。

3、4人が1チームとなり、小さな赤い目標球に、金属製のボールを投げて、どれだけ自分のチームのボールに近づけるかを競うペタンクで

は、女子小学生チームに苦戦する社会人チームの姿も。「しつかりやれ」と社会人チームに激励のことが送られていました。なごやかな雰囲気の中、軽スポーツにさわやかな汗を流した1日でした。

ドリミと格闘 大人のピアノ教室

中央公民館では、「大人のピアノ教室」が先月8日から始まり、20人の初心者が楽譜と鍵盤に悪戦苦闘。自分で楽器を演奏したいと

いう人が増え、この教室の参加希望は50人。抽選で参加者を決める狭き門となりました。

参加の動機は「ボケ防止に」「家族とみんな音楽を楽しみたい」「音楽を聞くのが好き。ピアノが弾けたら」などさまざま。

中には「退職後、時間もあり、大好きな演歌を自分のピアノ演奏で唄えるようになったら」という野望(?)をもった60歳代の男性参加者も



いました。

教室は日曜日の午前中、1時間にわたって12月まで全9回開催。「指の動かし方」や「楽譜の読み方」などの基本から、最終回には一人ずつのミニコンサートを予定しています。

小さいうちから 畳に親しんで

和室で慣れ親しむ習慣を小さい頃から肌で感じてもらうと、長田畳店の長田久富さんが、中央保育園に畳を寄付しました。

今回、長田畳店からの申し出を受けて、中央保育園では、畳のある4つの乳児室の内、2部屋分にあたる25枚を先月14日入れ替えました。

中央保育園の尾加名靖子園長は「この園は、市内の園でも0歳児〜3歳児が一番多く、小さい子どもには、温かみのある畳は、保育環境にも

最適。大事に使いたいですね」と話しています。

「人との和が薄れてきている中、和室も減ってきています。昔は、和室に集まって食事をしたり、一家団らんしたりといった和があつたように思います。そんな気持ちで今回の寄付を決めました。毎年続けて各園に寄付していきたいですね。小さいうちから、畳のよさを肌で感じてもらい、できれば将来の畳ファンになつてもらえたら」と長田さん。アレルギーを持つ子ども



さんに配慮して、ダニのつかない畳を使用しています。

防犯功労者として 金章受賞

先月5日、明治記念館で行われた(財)全国防犯協会連合会と警察庁主催の全国地域安全運動中央大会で、渡部上

さんが防犯功労者として、金章を受章しました。

この受章は長年、地域防犯活動の指導者として地域住民の自主防犯意識の高揚と暴力排除に尽力されたことに対して贈られたものです。

渡部さんは、昭和59年に市防犯協力会の専任副会長に就任以来、今年6月に退任するまでの約16

年間にわたり、その職責を務められました。その間、県警や館山警察署と連携し、暴力追放に奔走。また、協会の部に資金・企画・総務などの部会を設け、協会運営を行政主導から自主的なものに切り替えました。受章にあたり「この職を続けることができたのもみなさんの協力のおかげです」と感想を話していました。



私たちがつきました 地元企業のホームページ

県立館山高校（菊込宏征校長）商業科3年生42名が、地域の中小企業を紹介するホームページを作成し、今月5日の文化祭で発表しました。

「総合実践」の一環として行われ、館山青年会議所や安房パソコン研究会などが協力。9月下旬から、生徒一人ひとりがそれぞれの事業所を訪問して、商品や企業の特徴を独自に取材しながら、ホームページ作りに取り組みました。専門高校だけにホームページ



▲企業と相談しながらホームページを作る生徒

くりは、お手の物ですが、個人のホームページとは違い、自慢の商品を多くの人に知ってもらおう企業ホームページは、初体験。「パソコンでの情報発信も含め、今の若者は、自分の言いたいことだけを伝えようとする傾向があります。実際に業者の人と話をして、相手が伝えたいこと、わかってほしいことを汲み取って、デザインしていくことで、社会体験になれば」と担当の岩崎信一教諭。

文化祭で、できあがったホームページを見た、三平真理事長は、「生徒たちの着眼点やアイデアには、感心しました。経営者が伝えたいことを理解しながら、情報を見る側の立場も忘れないで、つくられているものが多いですね。色使いや配置など『見てほしい』気持ち伝わりやすい」

生徒たちがつくったホームページは、これから各事業所に無償で渡されます。

中学生に市長が答弁 中学生模擬議会

先月16日、今年で2回目となる中学生模擬議会が開かれ、14人の中学生議員が辻田実市長ら市幹部の前に、熱弁を振るいました。この日は、市内4中学校から正副議長2名、議員28名が出席したほか63人が傍聴。

会議の冒頭、同市長は「みなさんの発言、提言を市政に活かしたい。活発なご意見を」とあいさつ。

質問は「地震による被害が予測されるが、校舎の耐震工



事はどうなるのか」という中学生活に直結するものから、「イルミネーションによる光



の祭典を行い、冬の観光につなげたらどうか」という施策に対する提言まで多岐に及びました。

議長の大役を務めた第二中学校3年の宮下昌さん「授業で学んだ議会は面白いものでしたが、身近に感じました」と一言。



消防車に大はしゃぎ 交流園外保育

31日、市内の公立保育園の5歳児74人が、藤原の県立館山運動公園で交流保育を楽しみました。

保育園児が一同に集まり、多くの友達と楽しく遊び、新しい体験をしたりしながら、



5歳児に必要な競争心や協調性などを培ってもらおうとするものです。今年度は6月の南房パラダイスでの春の園外

三芳や海まで一望！ ここに稲村城が

このほど、九重地区公民館（今宮靖雅館長）主催による「稲村城跡見学会」が開かれ、30人の参加者は里見の歴史に思いをほせていました。

当日、午後1時30分に同公民館に集合した参加者は、愛沢伸雄（安房南教諭）さんの講義を約1時間におたり聴講。それから、市生涯学習バスで稲地区の城跡に向った一行は、講師の説

保育を皮切りに、温水プールでの水泳指導などこの日の秋の園外活動で7回目。

この日、バスで集まった園児たちは、館山消防署の協力で、消防自動車に体験乗車。初めて乗る消防車に大騒ぎ。元気いっぱい楽しみました。



明を受けながら、徒歩で山頂を目指しました。遠く鏡ヶ浦、三芳村から竹原地区まで広く見渡せる山頂にたどり着くと、その見晴らしの良さに参加者から驚きの声があふ。

同館長は「地区公民館としては、郷土史サークルが年5回活動していますが、地区以外からも多くの参加者があり、関心の高さに驚いています」

お話を 人形劇のついで

子どもたちに大人気、人形が織りなす夢の世界。おなじみの館山子ども文化研究会が出演。ご家族おそろいでどうぞ。

日時/12月9日(土)
午前10時〜正午
会場/コミュニティセンター(展示ホール)
演目/人形劇「たのきゅう」、語り「里見八犬伝」、パネルシアター「トンネルぬけたら」、ブラックシアター「あわてんぼうのサンタクロース」
対象/どなたでも
出演/館山子どもの文化研究会



※事前の申し込みは、必要ありません。当日、会場へ直接お越しください。
問合せ/中央公民館(☎23-3111)

医療講座受講生募集

痴呆について

痴呆とはどういう病気なのでしょう？館山病院では、痴呆について考える医療講座を開催します。一般の方々にもわかるよう、専門用語を避け、できるだけわかりやすくお話ししますので、お気軽においでください。

日時/12月12日(火)
午後5時20分〜6時20分
場所/館山病院准看護学校2階教室
テーマ/「痴呆について」
講師/館山病院精神神経科 医師 赤田弘一
定員/200名
*当日直接会場におこしください。
問合せ/館山病院(☎22-1122)

安房医師会病院 ☎25-5111 館山市山本1155(旧東市民運動場)

安房医師会病院では、年間365日24時間体制(夜間・休日・土曜【午後】)で、時間外の救急患者を受け入れています。

*病院内には、初期診療施設として、安房郡市夜間急病診療部(午後7時〜午後10時・年中無休)が設置されています。

安房医師会病院以外の夜間救急医療

11月	12月
15日(水) 小田病院 ☎0470-92-1128	1日(金) 鴨川市立国保病院 ☎0470-97-1221
16日(木) 伊藤胃腸科クリニック ☎0470-92-2231	2日(土) 鋸南病院 ☎55-2125
17日(金) 鴨川市立国保病院 ☎0470-97-1221	3日(日) 東条病院 ☎0470-92-1207
18日(土) 鋸南病院 ☎55-2125	4日(月) 富山国保病院 ☎58-0301
19日(日) 小田病院 ☎0470-92-1128	5日(火) 鋸南病院 ☎55-2125
20日(月) 富山国保病院 ☎58-0301	6日(水) 赤門整形外科内科 ☎22-0008
21日(火) 東条病院 ☎0470-92-1207	7日(木) 伊藤胃腸科クリニック ☎0470-92-2231
22日(水) 小田病院 ☎0470-92-1128	8日(金) 鴨川市立国保病院 ☎0470-97-1221
23日(木) 伊藤胃腸科クリニック ☎0470-92-2231	9日(土) 小田病院 ☎0470-92-1128
24日(金) 鴨川市立国保病院 ☎0470-97-1221	10日(日) 赤門整形外科内科 ☎22-0008
25日(土) 赤門整形外科内科 ☎22-0008	11日(月) 富山国保病院 ☎58-0301
26日(日) 館山病院 ☎22-1122	12日(火) 東条病院 ☎0470-92-1207
27日(月) 富山町国保病院 ☎58-0301	13日(水) 小田病院 ☎0470-92-1128
28日(火) 東条病院 ☎0470-92-1207	14日(木) 伊藤胃腸科クリニック ☎0470-92-2231
29日(水) 赤門整形外科内科 ☎22-0008	15日(金) 鴨川市立国保病院 ☎0470-97-1221
30日(木) 伊藤胃腸科クリニック ☎0470-92-2231	

上記の施設は、夜間待機施設として、午後5時から翌朝8時まで診療します。症状によっては対応できない場合もあります。判断できない場合は、当日の夜間待機施設か安房郡市消防本部(☎22-2233)へ問い合わせてください。

安房医師会病院以外の休日当番医

11月	12月
19日(日) 中原病院(和田町) ☎47-2021 小田病院(鴨川市) ☎0470-92-1128	3日(日) 小林病院(館山市) ☎27-3811 東条病院(鴨川市) ☎0470-92-1207
23日(木) 三芳病院(三芳村) ☎36-2311 伊藤胃腸科クリニック(鴨川市) ☎0470-92-2231	10日(日) 赤門整形外科内科(館山市) ☎22-0008 松澤医院(鴨川市) ☎0470-97-1122
26日(日) 館山病院(館山市) ☎22-1122 青木医院(丸山町) ☎46-4103 亀田総合病院(鴨川市) ☎0470-92-2211	17日(日) 勝山病院(鋸南町) ☎55-2138 小田病院(鴨川市) ☎0470-92-1128

※都合により、当番医が変更になる場合があります。

こんなことあんなこと 相談案内 お気軽にどうぞ

相談はすべて無料です（結婚相談以外は、土曜・日曜・祝日は休みます）
 秘密は厳守されますからお気軽にご相談ください

心配ごと

（一般相談員による相談）
 日時/毎週火曜日（祝日の場合は翌日）
 午前10時～午後3時
 （専門相談員による相談）
 日時/毎月第1、第3火曜日
 午後1時～3時
 対象/一般相談員の相談を受けた人、
 1日4人まで
 場所/市民センター
 問合せ/社会福祉協議会 ☎23-5068

介護

在宅での介護に関する心配ごと、悩みごと
 日時/24時間・毎日
 場所/館山市在宅介護支援センター
 なのはな ☎29-2800
 ほほえみ ☎27-6411
 たてやま ☎25-7191
 安房医師会 ☎25-5030

定例行政相談

行政への苦情や意見、要望
 日時/12月15日（金）
 午前10時～午後3時
 場所/那古地区公民館会議室

家庭教育

生活習慣、登校拒否、非行の相談など
 日時/月曜～金曜日 午前9時～午後4時
 場所/中央公民館
 問合せ/☎23-3111

児童

家庭関係・養育問題など
 日時/毎日午前8時30分～午後5時
 場所/市社会福祉課

職業

高齢者・パートタイマー
 日時/毎週月・火・木・金曜日
 午前9時～午後5時
 場所/市役所市民相談室

精神保健

不眠、イライラ、対人関係、老人ボケ等の心配
 日時/12月5日（火）・12月12日（火）
 12月19日（火）・12月26日（火）
 午後1時30分～3時
 場所/安房保健所
 申込/安房保健所（☎22-4511）に予約必要

人権相談

日時/12月4日（月）
 午前10時～午後3時
 場所/菜の花ホール
 問合せ/法務局館山支局 ☎22-0620

乳幼児

◎乳児健診
 日時/12月13日（水）
 対象/4カ月児
 受付時間/午後1時30分～2時30分
 ◎乳児相談
 日時/12月4日（月）
 受付時間/午前9時30分～10時30分
 ◎1歳6カ月児健康診査
 日時/12月7日（木）
 対象/平成11年5月生まれ児
 受付時間/午後1時20分～1時40分
 ◎3歳児健康診査
 日時/12月21日（木）
 対象/平成9年6月生まれ児
 受付時間/午後1時20分～1時40分
 ※場所はいずれも保健センター
 （☎23-3113）

消費生活

商品のサービスや苦情・問合せ
 日時/12月7日（木）・21日（木）
 午前9時～午後4時
 場所/市役所市民相談室

市民

市民生活あれこれ、お気軽にどうぞ
 日時/毎日 午前9時～午後5時
 場所/市役所市民相談室

結婚

日時/毎月第1、第3日曜日
 午前10時～午後4時
 場所/市民センター
 問合せ/社会福祉協議会 ☎23-5068

年金

厚生年金など（館山市役所は偶数月に開催）
 日時・場所/12月21日（木） 館山市役所
 午前10時～午後2時
 国民年金は、常時市民課で相談に応じます。

交通事故

電話でもできます
 日時/毎日午前9時～午後4時30分
 場所/交通事故相談所安房支所
 問合せ/☎22-7111（内線371）

身障・知的障害

日時/身障：毎月第2金曜日
 知的障害：毎月第4火曜日
 午後1時～3時
 場所/身障：伊賀整形外科クリニック
 知的障害：田村病院
 申込/社会福祉課に必ず事前に申し込みを
 してください。

不用品 情報コーナー

みなさんの不用品交換のお手伝いをします。
 ほしい、譲りたいなどのご希望をお寄せください。
 お問い合わせは、商工観光課消費生活係
 （☎22-3111内線596）へどうぞ。

◎希望します【希望条件】
 【相談】動物用キャリーケース（小型）・煙のぼり
 【無料】ぶらさがり健康器・ワープロ（リコー）
 ◎譲ります【希望条件】
 【2500円程度】歩行器
 【5000円程度】電気オルガン（カワイ製）
 【1万～1万5千円】マッサージ機
 【3万円程度】電動自動車
 【相談】冷蔵庫130リットル・電動リクライニング
 ベッド・サ라운드アンプ・ステレオチューナー

●12月の古紙・紙バック回収日

地区名	古紙	紙バック
館山	3日（日） 19日（火）	21日（木）
北条	10日（日） 26日（火）	7日（木）
那古・船形	24日（日）	14日（木）
西岬・富崎	7日（木）	28日（木）
神戸	4日（月）	28日（木）
豊房	21日（木）	28日（木）
館野・九重	20日（水）	14日（木）

◎新聞、雑誌、ダンボールに付けてごみ搬出場所へ
 ◎回収日の午前8時30分までに
 ◎雨でも回収します。濡れないように、ビニールなどで覆ってください
 ◎紙バックは切り開き、洗って乾燥してください



養蚕の守護仏 蘭区医王寺の 馬鳴（めみょう）菩薩

九重地区蘭に医王寺というお寺があります。養師様を本尊にそれを十三神将が守っているお寺です。ここには万石騾動の三義民のひとり、櫻本五左衛門の墓もあります。

ちなみに十三神将は、江戸時代の石造りで、市内に多くの優品を残している、長須賀の石工鈴木伊三郎の作品です。

この参道を入ると、左手の墓地への入口にある、変わった

姿の石仏が目を引きまします。いななく姿の馬に横掛けして、左足を下げてすわっている菩薩様です。腕は8本あり、それぞれの手には何かを持っていたのでしょうか、折れてしまっただけか、棒のようなものだけか、です。

この姿は馬鳴菩薩といって、貧しくて裸の人びとに、衣服を織って与えるときれる仏様です。そのため養蚕や機械織りの仏様として信仰されています。

つまり手に持っていたのは、糸棒、糸、管、棹棒といった織物道具だったわけですね。日本ではとりわけ養蚕として、広く信仰されています。

日本の養蚕では、東北地方のオシラ様が有名ですが、オシラ様にはこんな伝説があります。

むかし銅い馬が、銅い主の長者の娘に恋をしたために、長者に殺され、娘は行方不明になって、哀れな最期をとげてしま。娘はオシラ神となって天から降りてきて、桑の木にとま。蚕はこのオシラ神なのだ、

というものです。馬に乗った馬鳴菩薩の姿は、馬に乗ったオシラ神でもあるのです。

ところで養蚕は、日本では古事記や日本書紀の時代から行われている古い産業ですが、江戸時代にいたるまで品種や技術水準は低く、自生する桑の葉を採って、農家の副業として行われていました。

それが幕末の開港によって海外貿易がはじまると、生糸が輸出品として急増します。明治になると養蚕を行つた農家も増えて、明治二十年には安房でも養蚕組合がつくられ、養蚕伝習所や組合製糸場も整っていきま。した。

館山市内では北条・神戸・豊津が盛んで、なかでも青柳の秋山九右衛門は養蚕の普及に尽力していました。

医王寺の馬鳴菩薩は、江戸時代の終りから明治時代頃に作られたものようです。蘭区の養蚕の様子はわかりませんが、かつて館山市でも、養蚕が行われていたことを伝えているのです。

12月の市立博物館の休館日は、4日・11日・18日・25日・29日・30日・31日です。



12月の城山公園茶室の 雁月庵月釜は 17日（日）です お気軽にどうぞ

平成13年度・14年度の入札参加の受付がはじまります。
 申請書作成要領は、財政課契約係にあります。この申請に基づいて、入札などの方法で、工事の発注や事務用品、

紙面のまま ホームページで

ホームページの「だん暖たてやま」が、今月号から、新しくなりました。

新しいホームページでは、紙面のまま、写真はカラーでご覧いただけ、毎月15日には最新号が掲載されます。

市ホームページのアドレスは、<http://www.awa.or.jp/home/tateyama/my.html>です。

平成12年 第4回市議会定例会 招集予定日は 12月8日です

平成13年度と14年度の2年間は、例年より早めの受付です。で、ご注意ください。

受付期間/平成12年12月1日（金）～平成13年1月15日（月）
 問合せ/財政課契約係（電話22-3111 内線534）